

授業科目名 <英訳>	東洋史学(演習) Oriental History (Seminars)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 石川 禎浩					
配当 学年	全回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 前期	曜時限	月2	授業 形態	演習	使用 言語	日本語
題目	中国現代史演習										
【授業の概要・目的】											
中国現代史にかんして現代中国語で書かれた文献・資料をいくつか選んで精読し、併せてそれら史料の成り立ちや編纂経緯についての理解を深める。											
【到達目標】											
歴史学に欠かせない資料読解の水準を高め、中国語文献にもとづいて議論をする能力を身につける。											
【授業計画と内容】											
各回の授業において、中国現代史にかんするさまざまな中国語文献を日本語訳しながら精読し、記述されている内容が裏付けられるかどうか、他の資料を発掘・対照しながら精査していく。それぞれの文献の読了後には、当該文献に関連する歴史事象をとりあげ、報告・討論を行う。講読する文献については、授業初回に受講生の顔ぶれや中国語習熟程度を勘案して決める。											
【履修要件】											
現代中国語で書かれた文献を教材とするので、中国語の基礎を有する必要がある。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
平常点と期末レポートの総合評価											
【教科書】											
授業中に指示する テキストは授業で配布する。											
【参考書等】											
(参考書) 授業中に紹介する											
【授業外学習(予習・復習)等】											
授業前には入念な予習が必要である。											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。											